

弘前大学学報



第16回弘前大学総合文化祭
よさこいサークル「焔舞陣」

第 151 号
平成28年10月号

目 次

学内ニュース

○平成 28 年度秋季入学式を挙行	1
○北日本考古学研究センター「大五月菫展オープニングセレモニー」実施	3
○大連理工大学教員交流プログラム（受入）を実施	4
○弘前大学八戸サテライト「経営戦略講座」開催	5
○平成 28 年度弘前大学起業家塾（第 4 回目）を開催	6
○名誉教授との懇談会を開催	7
○日本考古学協会弘前大会を開催	8
○弘前大学白神自然環境研究所シンポジウム「自然史を学ぶ楽しみ」開催	9
○教育推進機構 小磯重隆 准教授日本学術振興会より平成 28 年度「科研費」審査委員表彰	10
○ブータンからの一行が学長を表敬訪問	11
○第 16 回弘前大学総合文化祭『It's HIRO TIME』を開催	12
○「ホームカミングディ 2016 in 弘前大学」を開催	13
○テネシー大学マーチン校教員交流プログラムを実施	14
○平成 28 年度弘前大学起業家塾（第 5 回目）を開催	15
○平成 28 年度地域社会研究科公開セミナー（第 1 回目）を開催	16
○「第 3 回ライブラリカフェ」を開催	17
○弘前大学八戸サテライト「食育健康セミナー」（三沢市）を開催	18

諸 会 議	19
-------	----

人 事

○人事異動	21
-------	----

主要日誌	24
------	----

学内規則	25
------	----

平成 28 年度秋季入学式を挙行

平成 28 年 10 月 3 日（月）、弘前大学大学会館 3 階大集会室において、平成 28 年度秋季入学式が関係者出席の下、厳かに行われました。

学長告辞

秋色まさにたけなわの中、本日ここ弘前大学大学会館大集会室において平成 28 年度秋季入学式を挙行できますことは、弘前大学の職員、学生にとって大きな喜びとするところであります。本日新たに弘前大学大学院の一員に加わっていただいた 20 名の皆さんを心から歓迎するとともに、皆さんにお祝いを申し上げます。ご入学、誠におめでとうございます。

高等教育機関の目的は高度な教育研究の成果をもって、社会に貢献することです。そして皆さんは、既に社会貢献の担い手ですが、大学院での教育研究を経て、将来はその力をより高いレベルで発揮していただくべき人材です。我が国においては、今年から 18 歳に達すると選挙権が与えられることになりました。選挙権のみならず、18 歳をもって成人とする制度改革も提唱されています。皆さんは既に成人に達していますが、制度の問題ではなく、それ以上に、事実上成熟した社会人としての歩みを既に歩んでいるとの自覚を持っていただくことが必要です。最早、大学は昔のように社会から一定の距離を置いた教育研究活動の場であってはならず、さまざまな面で社会に開かれたものになりつつあります。研究はもちろんのこと、学部教育においてさえ、学外のさまざまな専門家のご協力をいただきながら進める機会がますます多くなるのは間違いありません。大学院においては、より専門的な教育研究が中心になりますが、一方で、皆さんが自ら学びをデザインする機会も増えることと思います。皆さん自身がそのように努力していくことが必要です。

我が国社会のリーダーとして、あるいは国際社会のリーダーとしての皆さんの活躍を担保するのは、コミュニケーション能力がその一要素であることは間違いなく、そのために言語能力は極めて重要ですが、それは必要条件ではあっても、十分条件ではありません。コミュニケーションの力は単に言葉に関連する能力ではなく、人としての総合力とでも言うべき力です。皆さんは大学院生活の中で多様な経験を積むことを通して自らの全人的教育に努めていただきたいと思います。また、教育研究の国際化は弘前大学にとってきわめて重要な課題ですが、その一環として、皆さんの英語力の強化は不可欠な目標です。アカデミアの世界において学術的コミュニケーションの大部分は現実的には英語によって成立しています。是非そのための努力を積んでいただきたいと思います。しかしながら、最終的に大切なのは、「言葉を用いて何を語るか」ということです。繰り返しますが、大学院においては、これまでに比べてより多様な学びの機会が数多く



あります。大学院に相応しい教育研究の姿を自ら求める努力を忘れないでいただきたいと願っています。

私たちの生きている 21 世紀初頭の世界はあらゆる面で、未曾有の課題を抱えているように感じます。しかしながら、人類の歴史は常に未経験の課題への取組の歴史だったと言っても過言ではありません。世界の未来は皆さんの双肩にかかっているとの気概をもって、学問に身を投じて下さるよう願って止みません。

終わりに大学院においてさらなる学問を追究すべく決心された皆さんに満腔の敬意を表するとともに、今後、大学院生としての皆さんの日々が充実したものになるよう祈念して告辞と致します。

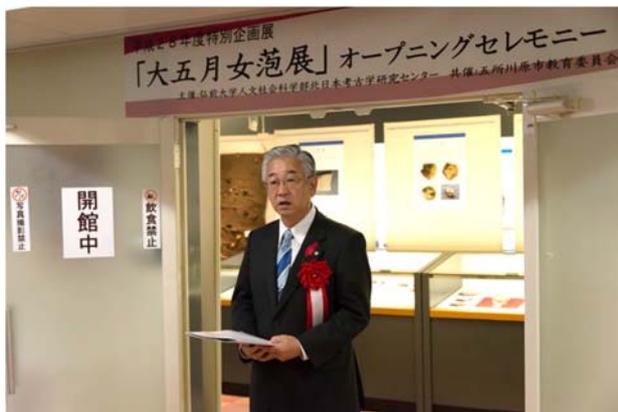
平成 28 年 10 月 3 日
弘前大学長 佐藤 敬

北日本考古学研究センター「大五月女范展オープニングセレモニー」実施

平成 28 年 10 月 7 日，人文社会科学部北日本考古学研究センターでは，「大五月女范（だいそとめやち）展オープニングセレモニー」を，総合教育棟 2 階において実施しました。

オープニングセレモニーには五所川原市教育委員会の長尾教育長をはじめとするご来賓をお招きし，テープカットが行われました。今回の特別企画展では，同遺跡で発掘された全国でも珍しい「人面付き土器」が展示されており，普段は目にすることが出来ない史料を閲覧できる貴重な機会となっています。

展示期間は平成 28 年 10 月 8 日～平成 28 年 11 月 13 日で，「成田彦栄氏考古資料コレクション展」も同時開催しました。



開催の挨拶をする長尾教育委員会教育長



開催の挨拶をする今井人文社会科学部長



テープカットする関係者（右から関根センター長，今井人文社会科学部長，長尾五所川原市教育委員会教育長，丁子谷五所川原市教育委員会委員

大連理工大学教員交流プログラム（受入）を実施

平成 21 年 12 月 28 日に大学間交流協定を締結以降、大連理工大学（中国）と弘前大学は、教職員及び学生の交流に努めており、平成 24 年 7 月 13 日に大連理工大学内に弘前大学大連事務所を設置するなど良好な関係を築いています。

大連理工大学と弘前大学は教育・研究に関する学術交流の更なる推進のため、平成 28 年度に双方間の教員交流プログラムを開始することを決定し、この度、平成 28 年 10 月 10 日（月）～10 月 17 日（月）の日程で記念すべき第 1 回目の教員交流プログラムによる大連理工大学からの教員受入が実施されました。

大連理工大学からは、宋永臣（そうえいしん）副学長、能源与動力学院 張岩（ちょうがん）教授、唐大偉（とうだいい）教授が来学しました。

宋副学長は、別用務のため二日間という短い滞在でしたが、弘前大学滞在中に学長表敬訪問や理工学研究科長表敬訪問、大連理工大学からの留学生との懇談などを行いました。

宋副学長が弘前を離れた後、張教授と唐教授は、受入部局教員である理工学研究科の阿布里提教授の協力のもと、イングリッシュラウンジでの大連理工大学の紹介プレゼンテーションや、ご自身の専門分野の講演会などを開催するなどし、大連理工大学への留学を予定している学生や中国留学に興味のある学生、理工学研究科の学生や教員たちと貴重な時間を共有し、帰国の途につきました。

大連理工大学との教員交流プログラムを通して、今後ますますの教育・研究に関する学術交流の発展が期待されます。



学長表敬訪問

弘前大学八戸サテライト「経営戦略講座」開催

平成 28 年 10 月 11 日（火）デーリー東北新聞社 6 階メディアホールにおいて、「デーリー東北新聞社及び弘前大学八戸サテライト共催『イノベーション経営戦略講座』」を開催しました。

同講座では、地域の中小企業が、地域経済の担い手として存続・発展していくために、次世代経営を担う人材の育成と、産学間交流によるネットワークを通じて地方創生に寄与することを目的としており、中小企業経営者（後継者・管理職を含む）を対象に、平成 29 年 3 月 7 日まで全 12 回の講座を予定しています。

初回は、株式会社デーリー東北新聞社 荒瀬潔 代表取締役社長の開講挨拶後、株式会社フランチャイズアドバンテージ 田嶋雅美 代表取締役社長から『『企業の衰退はリーダーシップで決まる』～トップのレベルは部下のレベル～』と題した講義が行われました。講義では、コンサルタント業務で実際に出会ったトップリーダーの人柄に触れながら、魅力的な経営者にも多種多様なタイプが存在することや、サービス工学の代表例、KPI（重要業績評価指標）の意識付けによる現場アクションの改善提案、企業課題解決のためのIoT利用とフィードバックの重要性など、具体的な取組を説明しました。後半は「強いリーダーシップの条件」と「ゆとり世代のリーダーとは」についてグループ討議が行われました。時折、笑い声が起る和やかな雰囲気の中、積極的に意見発表したり、講師のアドバイスに熱心に耳を傾けたりと有意義な講義となりました。

30 代中心の若い経営者ら 35 名が、業種を超え一堂に会した同講座には、当初の募集定員を超える多数の申込みがあり、経営革新に対する関心の高さがうかがえました。



開催の挨拶をする荒瀬社長



講義をする田嶋講師

平成 28 年度弘前大学起業家塾（第 4 回目）を開催

平成 28 年 10 月 13 日（木）、弘前大学総合教育棟 2 階大会議室において、「弘前大学起業家塾 第 4 回目」を開催しました。

本起業家塾では、レンタルラボ等のインフラを活用し、学生や研究者を対象に、実際の起業家等による講演及びワークショップを中心とした起業家育成プログラムを実施することで、起業への意識醸成を図り、起業（VB）の促進、研究シーズ等を活用した起業家の育成及びイノベーションの創出を目指します。今年度は、第 1 回目から第 3 回目までは講演及びワークショップ形式での開催となっており、第 4 回目からは参加者同士でグループを組んでワークショップを行っております。

今回のワークショップは、四元マーケティングデザイン研究室 四元正弘 代表を講師に招き「マーケティングの本質を実感するワークショップ」と題し、「強い差別化」と「弱い差別化」の違い、新結合と革新性（イノベーション）の起こし方の解説、「物語マーケティング×広告」でヒットの成功事例、失敗事例の分析などを行いました。

当日は学生、教員、企業関係者など 38 名が受講し、講演中及び講演後も塾生から講師に多数の質問が寄せられるなど、熱心な意見交換が行われました。



四元講師による講演



ワークショップの様子

名誉教授との懇談会を開催

平成 28 年 10 月 14 日（金）弘前大学創立 50 周年記念会館岩木ホールにおいて「名誉教授との懇談会」を開催しました。

この懇談会は、本学名誉教授を迎え、本学の管理運営について忌憚のない御意見を伺うために例年 10 月に開催しており、今年度は名誉教授 14 名と大学側から学長をはじめ 24 名が出席しました。

はじめに学長より「名誉教授の先生方から忌憚のない御意見を頂戴し、弘前大学の運営に役立てていきたい。」との挨拶があり、続いて、学長よりこの 1 年間における大学の業務実績の総括報告がありました。その後、各学部・研究科長、附属病院長及び各附置研究所長がそれぞれ現況報告を行いました。

名誉教授からは「教員が研究成果を発表する全学的な情報交換の場について」、「ヘリポートの運用状況について」、「弘前大学基金の現状について」、「教養教育のあり方について」、「基礎研究の現状について」などへの御意見等が出されました。

懇談会終了後は、同会館にて昼食会を引続き開催し、和やかに歓談しました。



総括報告する佐藤学長



参加した名誉教授

日本考古学協会弘前大会を開催

平成28年10月15日（土）から3日間にわたり、会員数4000名超の国内最大の考古学関連学会である日本考古学協会の大会が本学で開催されました。

初日に当たる15日（土）は、日本考古学協会 谷川章雄 会長による、「熊本地震に伴う埋蔵文化財保護ならびに文化財の復興に関わる声明」が公表された後、公開講演会が行われ、弘前大学 藤沼邦彦 元教授による「亀ヶ岡文化の特質」、法政大学 小口雅史 教授による「10世紀北奥の蝦夷社会の実像」と題した講演が行われました。専門家を中心に約500名もの方が聴講し、立ち見が出るほど大変盛況な講演会でした。

16日（日）には、「縄文文化」「北東北の古代」「近世城郭」の3テーマに分かれた分科会も実施され、充実した研究発表が行われました。

最終日となる17日（月）には、本学周辺の各遺跡（大森勝山、亀ヶ岡、十三湊、大平山元）を巡るエクスカージョン（見学会）も実施され、参加者の好評を得るなど、今後の本学の考古学関連分野の更なる発展を期待させられる大変有意義な大会となりました。



講演会の様子



見学会の様子

弘前大学白神自然環境研究所シンポジウム「自然史を学ぶ楽しみ」開催

平成 28 年 10 月 15 日（土）に、弘前大学農学生命科学部 403 講義室において、白神自然環境研究所と白神研究会共催のシンポジウム「自然史を学ぶ楽しみ」を開催しました。シンポジウムでは、初心に帰って自然史を学ぶことの楽しさに着目し、新たな市民研究家を育成するために大学や博物館などの研究機関に何ができるのか、活動を支援し活性化する方法について意見を交わしました。講演者は、本学の教員に加えて、北海道大学総合学術博物館、静岡県立ふじのくに地球環境史ミュージアム及びさっぽろ自然調査館から招かれており、「自然史を学ぶノウハウを伝える」、「地域の生物を調べる意義と楽しみ」、「自然を楽しむ場とツールをつくる」等の内容で発表と活発なディスカッションが行われました。

このシンポジウムは青森県、環境省東北地方環境事務所、林野庁東北森林管理局、津軽昆虫同好会の後援を受けて実施され、大学生およそ 20 人を含む 65 人の参加でした。市民研究家の集まりである同好会組織の存続についても議論され、こうした組織の今後のあり方について考える良い機会となりました。



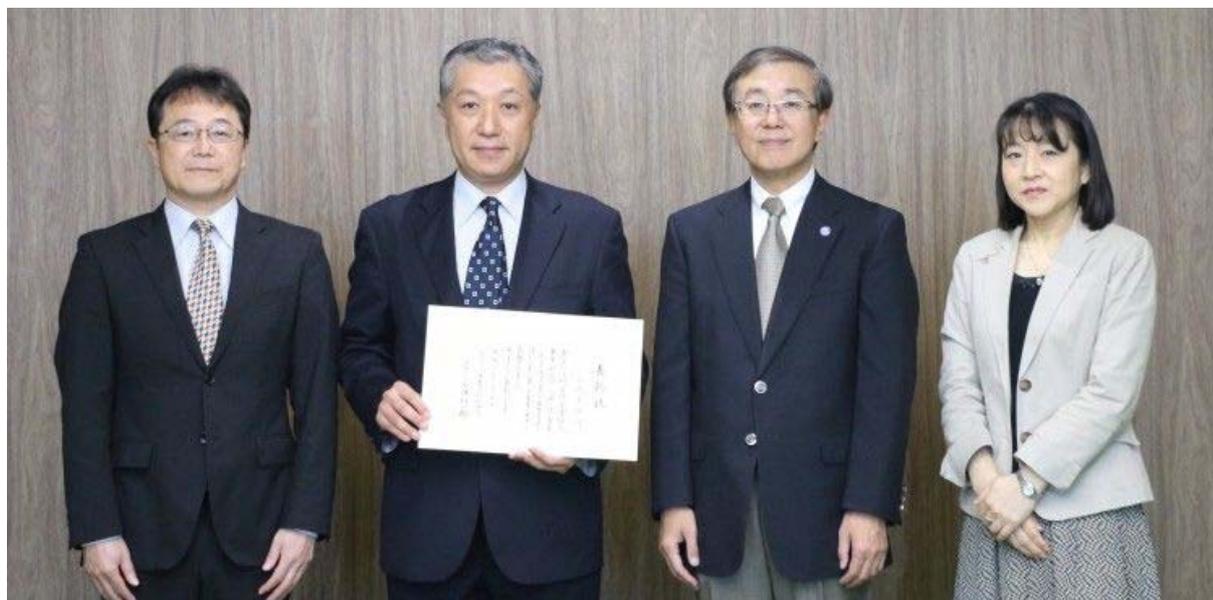
パネルディスカッションの様子

教育推進機構 小磯重隆 准教授
日本学術振興会より平成 28 年度「科研費」審査委員表彰

このたび、教育推進機構 小磯重隆 准教授が、独立行政法人日本学術振興会から「平成 28 年度日本学術振興会『科研費』審査委員 表彰」を受け、10 月 18 日（火）、佐藤学長から表彰状を手渡されました。

小磯准教授は科研費の審査にあたり、第一段階審査に当たる書面審査を担当しており、今回、模範となる審査意見を付し、学術システム研究センターにより認められました。今回表彰されたのは、書面審査を行った 5,700 名の審査委員のうち 268 名です。

表彰式には郡研究担当理事及び伊藤教育推進機構長も列席し、小磯准教授の功績を讃えました。



左から、伊藤教育推進機構長、表彰された小磯准教授、佐藤学長、郡理事

ブータンからの一行が学長を表敬訪問

ブータン王国農林省，ブータン王立大学農学部から高品質なリンゴの生産技術や加工技術を学ぶ訪問団一行が，平成 28 年 10 月 20 日（木）に佐藤学長を表敬訪問しました。同席者は弘前大学から大河原理事（社会連携担当），橋本農学生命科学部長及び吉仲同学部助教が，また榎原田種苗代表取締役社長の原田様と弘前市農林部りんご課職員が同席しました。

ブータン王国は「世界一幸せな国」として広く知られているヒマラヤ東端にある仏教国で，国土の殆どが山岳地帯の大自然に囲まれた国です。その山岳部では果樹の栽培が行われており，リンゴの輸出もされていますが，生産・加工技術は発展途上にあるのが現状です。

ブータン王国の上記 2 機関と弘前大学・弘前市が事業の実施団体となり，平成 27 年度から独立行政法人国際協力機構（JICA）草の根技術協力（地域活性化特別枠）事業「リンゴの生産，生産性および加工改善のための人材育成と新規技術導入」が行われています。一行はこの事業の一環として，本学部生物共生教育研究センター藤崎農場などで苗木の生産技術や剪定・摘果技術及びシードルなどの加工品の製造方法を習得するための研修で来弘しました。研修での来弘は計 4 回計画されており，今回が第 1 回目となりました。

一行から佐藤学長には象・猿・兎が力を合わせて木を育てている（友情を表している）様子が描かれている織物が，大河原理事にはブータン王国の伝統的なモチーフが描かれた美しい織物が手渡されました。ブータンでは織物の技術が高く，綿や絹で作られており，地元では高級品として扱われています。佐藤学長からは，津軽が誇る藍染めのハンカチなどが贈呈されました。

今回の表敬訪問を皮切りに，今後の教育・研究に関する交流の発展が期待されます。



表敬訪問の様子



贈呈された織物を手にする
佐藤学長㊦と大河原理事㊧

第16回弘前大学総合文化祭 『It's HIRO TIME』を開催

第16回弘前大学総合文化祭を10月21日（金）から23日（日）の3日間にわたり、本学文京町キャンパスで開催しました。今年度のテーマ「It's HIRO TIME」は、弘前の「HIRO」と主人公、英雄という意味のヒーロー（hero）を掛け合わせたもので、学生一人一人が主人公（ヒーロー）として中心となって活躍したいという思いと、地域の方々との協力を通して、弘前大学自体が街を盛り上げる勇士（ヒーロー）になりたいという思いが込められています。



オープニングフェスティバルでは、爽やかな秋空の下、集まった大勢の観客を前に、総合文化祭実施委員会委員長の佐藤学長が声高らかに開祭宣言し、華々しい幕開けとなりました。

期間中は、学生主体の模擬店でキャンパスは賑わい、学生の日頃の研究成果をもとにした実習や体験を直接体感できる「サイエンスへの招待」をはじめ、様々な研究発表がありました。さらに大学会館広場ステージでは、「ミスター&ミス弘大コンテスト 2016」や「熱唱！カラオケ大会 2016」などが開催され、会場は大きな拍手と笑いに包まれました。また、県内各地から計11チームが集合し、華麗な演舞を披露した「よさこい弘大」といったイベントの他に、一般来場者が参加できる「BINGOだよ!全員集合!」やイントロクイズ「みんなで一緒にクイズッキュン」、「大抽選会」など多彩な催しも行われました。

昨年同様、包括協定を締結している弘前市により行われた「地元産農産物等販売」にも多くの来者が訪れていました。

学生、教職員、地域住民が一体となり本学の更なる飛躍が感じられる3日間となりました。



よさこいサークル「焔舞陣」によるよさこい



多くの来場者で賑わうメインストリート

「ホームカミングデイ 2016 in 弘前大学」を開催

平成 28 年 10 月 22 日（土），弘前大学同窓会及び後援会のご支援を受け、「ホームカミングデイ 2016 in 弘前大学」を開催しました。

「ホームカミングデイ」は，弘前大学の卒業生，修了生，そして在学生・教職員のご家族の方々に，弘前大学の教育・研究活動を知っていただくことで，相互交流と親睦を深めるためのイベントで，今年で第 2 回目となります。

はじめに，佐藤学長から弘前大学の近況について報告があり，定員を上回る 89 名の参加者が，地域活性化の拠点として発展し続けている弘前大学の「今」に聞き入りました。また，当日は総合文化祭の開催期間中でもあり，ホームカミングデイ参加者のために初めて設けられたテラス席から「よきこい弘大」を見学し，若い学生達の沸き立つような演舞に寒さを忘れて見入っていました。

午後からは，遠藤前学長による「キャンパスツアー」が行われ，普段は聞くことができない弘前大学の歴史をたどる貴重な講話に，参加者らは感嘆の声を上げながら先達の偉業に耳を傾けるとともに，弘前大学の誇りを再認識していました。

今年度も，弘前大学同窓会の協力により，八戸地区から無料シャトルバスが運行され，同窓会関係者や在学生のご家族などに利用していただきました。リニューアル工事が完成した事務局棟や附属図書館を見学し，新しく生まれ変わったキャンパスの姿に弘前大学の変化を感じ取っていました。



佐藤学長による「大学近況報告」



遠藤前学長によるスペシャルキャンパスツアー

テネシー大学マーチン校教員交流プログラムを実施

本学の最も古い協定校であるテネシー大学マーチン校との教員交流プログラムを今年度も実施しました。テネシー大学マーチン校と本学は、昭和 55 年に大学間交流協定を締結し、その後、両大学の学術交流の推進、活性化を図るため、昭和 62 年に双方間の教員交流プログラムを開始し、今年度で第 30 回目を迎えます。

本プログラムに参加した教員は、それぞれの大学に滞在中、自身の専門に基づいて決められた受入部局の教員らと教育・研究に関する様々な交流や学内外視察などを行うことになっています。

今年度、本学からは農学生命科学部 高梨子文恵 准教授をテネシー大学マーチン校に派遣し、10 月 14 日から 10 月 24 日までの日程で、滞在期間中 2 つの講義やテネシーの農業組合、地元農家への訪問などを行いました。

一方、本学では 10 月 25 日から 30 日の日程で、農業経済をご専門とされているテネシー大学マーチン校 農学応用科学部のジョーイ・メルホーン教授とラチナ・テワリ助教を受け入れました。

滞在期間中、お二人はイングリッシュラウンジでのテネシー大学の紹介プレゼンテーションや 2 つの講義、学長表敬訪問、農協及びりんご農家訪問、また道の駅視察などを行いました。お二人にとって初めての日本訪問でしたが、学生、教員、地元の人々と積極的に交流を行い、異文化とのふれあいを楽しんでおられるようでした。



満員となった講義の様子



りんご農家訪問



ジョーイ・メルホーン教授（中央右）とラチナ・テワリ助教

平成 28 年度弘前大学起業家塾（第 5 回目）を開催

平成 28 年 10 月 26 日（水）、弘前大学総合教育棟 405 講義室において、「弘前大学起業家塾第 5 回目」を開催しました。

本起業家塾では、レンタルラボ等のインフラを活用し、学生や研究者を対象に、実際の起業家等による講演及びワークショップを中心とした起業家育成プログラムを実施することで、起業への意識醸成を図り、起業（VB）の促進、研究シーズ等を活用した起業家の育成及びイノベーションの創出を目指します。

第 5 回目となる今回は、青森銀行地域振興部小野毅 調査役を講師に招き、「ビジネスモデルで考える事業の収益化ワークショップ」と題して、収益ツリーとフィッシュボーンチャートを使用した収益アップのための考え方や、ビジネスモデルを売上高獲得タイプと取引先によって分類して収入の持続性を高める手法等について紹介があり、日頃から「この企業はどのような収益モデルなのか」を考える姿勢が大切であると解説いただきました。青森銀行で実際に行われている研修の一部を抜粋した内容ということもあって、参加者からは実践的で有意義な 2 時間だったとの声が聞かれました。

当日は、学生、教員、企業関係者など 22 名が受講し、ワークショップ終了後も活発な意見交換が行われました。



小野講師による講演



ワークショップの様子

平成 28 年度地域社会研究科公開セミナー（第 1 回目）を開催

平成 28 年 10 月 26 日（水），弘前大学総合教育棟 206 講義室において，地域社会研究科公開セミナー「人口減少社会における地域創生とは」第 1 回目を開催しました。

本セミナーは地域の社会人に大学院レベルの教育研究分野の学びを提供するために大学院地域社会研究科の授業カリキュラムを公開セミナー（全 4 回）として開放するものです。

第 1 回目は，北原啓司 地域社会研究科長が「成熟社会の『まち育て』」をテーマに，成熟社会の地域戦略となり得る「まち育て」の考え方を，具体的事例を交えながら講義を行いました。

当日は青森県内外から，自治体関係者，教育研究関係者，地域で活動する団体・NPO関係者等 25 名もの地域の方々が受講され，熱のこもったセミナーとなりました。



北原地域社会研究科長



熱心に聞き入る受講生

「第3回ライブラリカフェ」を開催

平成28年10月27日(木)、弘前大学附属図書館2階オープンラウンジにおいて、第3回ライブラリカフェを開催しました。

今回のテーマは「肌の健康」。医学研究科 皮膚科学講座 中野創 准教授をお招きし、学生、大学職員、弘前大学生協職員という、職業も年齢も多様なメンバーが集まりました。観客もコーヒーを飲みながら和やかな雰囲気が始まり、誰もが気になる「シミ・シワ対策」、「ストレスと皮膚」、「肌への食品の影響」という肌に関する3つの話題について話し合われました。学生からは事前に図書館で調べたという本やE-bookから得た知識も紹介され、紫外線による影響やアトピー性皮膚炎、サプリメントの話にも及び、時には笑いながら、終始楽しく盛り上がりました。

当日はYouTube Liveで生放送し、61名の方が視聴されました。



中野准教授[Ⓔ]と学生、大学職員、弘前大学生協職員ら

弘前大学八戸サテライト「食育健康セミナー」(三沢市)を開催

弘前大学八戸サテライトは、平成28年10月29日(土)三沢市総合社会福祉センターにて催された「みさわ健康フェア2016」に合わせて、「食育健康セミナー」を開催しました。

同セミナーは、三沢地区特産の農産物について、効果・効用などの機能性や調理・料理の方法を学び、地産地消による健康づくりと農業振興に寄与することを目的としています。当日は、みさわ健康フェアにお越しの、食育と健康に関心のある皆さまが、会場にお立ち寄りくださいました。

はじめに、教育学部 加藤陽治 特任教授から「地元産の農産物を見直し、健康寿命を延ばそう～三沢はニンニク、長いも、ゴボウなど健康野菜の宝庫～」と題した講義が行われました。講義では、美味しく栄養のあるものをバランスよく食べることの重要性と、そのために機能性食品をうまく取り入れることの大切さが説明されました。引き続き、農学生命科学部 前多隼人 助教から「ゴボウを食べて肥満予防と美肌効果で若返り」と題して講義が行われました。最後に、Mela Rosa(メラローサ)の管理栄養士である奥山綾乃氏から「ゴボウってこんなにおいしい食べ方があるんだ」と題して講義が行われました。途中、「黒ゴボウ茶」(前多助教)と「ゴボウシフォンケーキ」(奥山講師)が提供され、皆さんで食べながらの講演となったが、講師の問いかけに頷いたり、声が上がったりするなど有意義な講義となりました。

同セミナーの会場には、のべ150名の受講者が訪れ、三沢地区における、食育や健康に対する関心の高さがうかがえました。



講義をする加藤特任教授



講義をする前多助教

諸会議

▼役員会

10月3日（月）

審議事項

1. 教職大学院における学生支援について
2. 新たな組織評価について
3. 学生募集要項（一般入試）について
4. 平成30年度入学者選抜方法及び実施教科・科目等の変更について
5. 平成28年熊本地震により被災した弘前大学入学志願者のための検定料の免除について
6. 平成28年台風10号により被災した弘前大学入学志願者のための検定料の免除について
7. 調査委員会の設置について

報告事項

1. 理事の職務分担について
2. 教員業績評価の評価項目の検討状況について
3. 北東北国立3大学連携推進会議連携協議会男女共同参画シンポジウムについて

10月17日（月）

審議事項

なし

報告事項

1. 国立大学法人弘前大学の平成27年度に係る業務の実績に関する評価結果（原案）について
2. 八戸サテライト「食育健康セミナー」の実施について
3. 第3回ライブラリカフェについて

▼教育研究評議会

10月11日（火）

審議事項

1. 教職大学院における学生支援について
2. 新たな組織評価について
3. 学生募集要項（一般入試）について
4. 平成30年度入学者選抜方法及び実施教科・科目等の変更について
5. 平成28年熊本地震により被災した弘前大学入学志願者のための検定料の免除について
6. 平成28年台風10号により被災した弘前大学入学志願者のための検定料の免除について
7. 調査委員会の設置について

報告事項

1. 教員の採用等について
2. 講演会の開催について
3. 北東北国立3大学連携推進会議連携協議会男女共同参画シンポジウムについて
4. 寄附講義の開設について
5. 弘前大学工学部自然エネルギー学科開設記念シンポジウムの開催について
6. 弘前大学白神自然環境研究所シンポジウムの開催について
7. 放射性物質環境動態・環境および生物への影響に関する学際共同研究中間研究成果発表会の開催について
8. 委員会等報告
 - (1) 教育委員会報告（9月28日開催分）
 - (2) 入学試験委員会報告（9月26日開催分）
 - (3) 入学者選抜改革検討委員会（9月26日開催分）

▼教育委員会

10月26日（水）

審議事項

1. 平成28年度後期「学生による授業評価アンケート」の実施について
2. 平成28年度入学料徴収猶予者（秋季入学）について

報告事項

1. AO入試I合格者の入学前交流プログラムについて
2. 平成28年度前期懲戒処分について
3. 自転車の盗難防止について
4. 平成29年度入学予定者 弘前大学ゆめ応援プロジェクト選考結果（AO）について
5. 日本学生支援機構奨学金 平成29年度大学院予約採用について
6. 弘前大学総合文化祭の実施について

人 事 異 動

[採用]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
H28年10月01日		原 郁水	講師(人文社会・教育学系(教育・芸術領域)／教育学部専任担当)
H28年10月01日		今西 賢悟	助教(医学系(臨床医学領域)／大学院医学研究科専任担当) [H33.9.30まで]
H28年10月01日		工藤 整	助教(医学系(臨床医学領域)／医学部附属病院専任担当) [H33.9.30まで]
H28年10月01日		福原 理恵	助教(医学系(臨床医学領域)／医学部附属病院専任担当) [H33.9.30まで]
H28年10月01日		嵯峨 涼	助教(医学系(保健科学領域)／大学院保健学研究科専任担当)
H28年10月01日		田中 克典	助教(自然科学系(農学・生命科学領域)／農学生命科学部専任担当)
H28年10月01日		千代谷 真理	助手(医学系(臨床医学領域)／医学部附属病院専任担当) [H33.9.30まで]
H28年10月01日		島田 拓	助手(医学系(臨床医学領域)／医学部附属病院専任担当) [H33.9.30まで]
H28年10月01日		齋藤 傑	助手(医学系(臨床医学領域)／医学部附属病院専任担当) [H33.9.30まで]
H28年10月01日		成田 憲紀	助手(医学系(臨床医学領域)／医学部附属病院専任担当) [H33.9.30まで]
H28年10月01日		江目 孝幸	助手(大学院医学研究科地域医療学講座) [H31.3.31まで]
H28年10月16日		塚本 麻美	看護師(病院・臨床試験管理センター)

[任期更新]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
H28年10月01日	教授(人文社会・教育学系(人文科学領域)／教育推進機構教養教育開発実践センター専任担当)	中村 裕昭	教授(人文社会・教育学系(人文科学領域)／教育推進機構教養教育開発実践センター専任担当) [H38.9.30まで]
H28年10月01日	准教授(人文社会・教育学系(教育・芸術領域)／教育推進機構教養教育開発実践センター専任担当)	BERMAN SHARI JOY	准教授(人文社会・教育学系(教育・芸術領域)／教育推進機構教養教育開発実践センター専任担当) [H35.9.30まで]
H28年10月01日	講師(人文社会・教育学系(人文科学領域)／教育推進機構教養教育開発実践センター専任担当)	BIRDSELL BRIAN JON	講師(人文社会・教育学系(人文科学領域)／教育推進機構教養教育開発実践センター専任担当) [H35.9.30まで]
H28年10月01日	講師(人文社会・教育学系(教育・芸術領域)／教育推進機構教養教育開発実践センター専任担当)	多田 恵実	講師(人文社会・教育学系(教育・芸術領域)／教育推進機構教養教育開発実践センター専任担当) [H35.9.30まで]
H28年10月01日	講師(医学系(臨床医学領域)／大学院医学研究科専任担当)	松谷 秀哉	講師(医学系(臨床医学領域)／大学院医学研究科専任担当) [H35.9.30まで]

[昇任]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
H28年10月01日	看護師(病院・看護)	木村 素子	副看護師長(病院・看護)

[配置換え]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
H28年10月01日	課長(総務・広国)	中村 勝之	調整役(国際連携本部)
H28年10月01日	課長(総務・総務)	堀内 昭彦	課長(総務・総広)
H28年10月01日	課長補佐(総務・総務)	長谷川 公栄	課長補佐(総務・総広)
H28年10月01日	係長(学務・教務)	照井 聡子	係長(国際連携本部)
H28年10月01日	係長(総務・総務)	今 壽砂代	係長(総務・総広)
H28年10月01日	係長(総務・総務)	遠藤 勝久	係長(総務・総広)
H28年10月01日	係長(総務・広国)	高田 実希子	係長(総務・総広)
H28年10月01日	主任(学務・学生)	坂本 啓	主任(国際連携本部)
H28年10月01日	主任(総務・広国)	鳥潟 裕美	主任(国際連携本部)
H28年10月01日	主任(被ばく医療総合研究所)	板垣 学	主任(青森キャンパス)
H28年10月01日	事務職員(学務・学生)	澤田 祐人	事務職員(国際連携本部)
H28年10月01日	事務職員(総務・広国)	工藤 侑子	事務職員(国際連携本部)
H28年10月01日	事務職員(総務・総務)	久保田 純平	事務職員(総務・総広)
H28年10月01日	事務職員(総務・総務)	石田 有依	事務職員(総務・総広)
H28年10月01日	事務職員(総務・広国)	工藤 奨太	事務職員(総務・総広)
H28年10月01日	事務職員(総務・総務)	牧野 起奈	事務職員(総務・人事)
H28年10月01日	事務職員(学務・入試)	村井 啓靖	事務職員(総務・人事)
H28年10月01日	事務職員(財務・予企室)	上明戸 寛俊	事務職員(財務・財企)
H28年10月01日	事務職員(医学研究科)	齋藤 昌尚	事務職員(財務・予企室)
H28年10月01日	事務職員(青森キャンパス)	舘田 康貴	事務職員(財務・契約)
H28年10月01日	事務職員(病院・総務)	木村 悠介	事務職員(学務・入試)
H28年10月01日	事務職員(総務・人事)	中沼 由佳子	事務職員(研推・研推)
H28年10月01日	事務職員(財務・契約)	佐々木 刀太	事務職員(医学研究科)
H28年10月01日	事務職員(農学生命科学部)	高橋 昇平	事務職員(病院・総務)
H28年10月01日	事務職員(病院・医事)	関 寛子	事務職員(病院・総務)
H28年10月01日	事務職員(病院・総務)	八木橋 龍亮	事務職員(病院・医事)
H28年10月01日	事務職員(附属図書館)	成田 晶代	事務職員(病院・医事)
H28年10月01日	事務職員(研推・研推)	鷺谷 啓彰	事務職員(農学生命科学部)
H28年10月01日	事務職員(財務・財企)	山崎 雄貴	事務職員(被ばく医療総合研究所)
H28年10月01日	事務職員(病院・医事)	斎藤 めぐみ	事務職員(附属図書館)
H28年10月01日	准教授(人文社会・教育学系(人文科学領域)／国際教育センター専任担当)	SAWADA HANNAH JOY	准教授(人文社会・教育学系(人文科学領域)／国際連携本部専任担当)
H28年10月01日	准教授(人文社会・教育学系(人文科学領域)／国際教育センター専任担当)	小山 宣子	准教授(人文社会・教育学系(人文科学領域)／国際連携本部専任担当)
H28年10月01日	准教授(人文社会・教育学系(社会科学領域)／国際教育センター専任担当)	諏訪 淳一郎	准教授(人文社会・教育学系(社会科学領域)／国際連携本部専任担当)
H28年10月01日	准教授(人文社会・教育学系(教育・芸術領域)／国際教育センター専任担当)	鹿嶋 彰	准教授(人文社会・教育学系(教育・芸術領域)／国際連携本部専任担当)

H28年10月01日	助教（人文社会・教育学系（教育・芸術領域）／国際教育センター専任担当）	笹森 圭子	助教（人文社会・教育学系（教育・芸術領域）／国際連携本部専任担当）
H28年10月01日	助手（医学系（臨床医学領域）／大学院医学研究科専任担当）	及川 真亮	助手（医学系（臨床医学領域）／医学部附属病院専任担当）〔H33.9.30まで〕

[命]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
H28年10月01日	教授（医学系（臨床医学領域）／大学院医学研究科専任担当）	田坂 定智	医学部附属病院感染症科科长

[免]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
H28年10月01日	教授（医学系（臨床医学領域）／大学院医学研究科専任担当）	大門 眞	医学部附属病院感染症科科长

[休業]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
H28年10月01日	助手（医学系（臨床医学領域）／医学部附属病院専任担当）	大石 舞香	職務復帰
H28年10月01日	看護師（病院・看護）	日村 美玲	職務復帰
H28年10月01日	看護師（病院・看護）	佐藤 巴恵	職務復帰
H28年10月01日	看護師（病院・看護）	三橋 亜里沙	職務復帰
H28年10月11日	看護師（病院・看護）	安原 逸実	育児休業開始〔H29.9.30まで〕
H28年10月25日	看護師（病院・看護）	佐々木 礼奈	育児休業開始〔H30.3.31まで〕
H28年10月26日	助産師（病院・看護）	對馬 有加	育児休業開始〔H29.9.30まで〕
H28年10月28日	看護師（病院・看護）	宮入 真実	育児休業開始〔H30.3.31まで〕
H28年10月30日	看護師（病院・看護）	成田 薫子	育児休業開始〔H30.3.31まで〕

[休職]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
H28年10月01日	主任（医学研究科）	和田 丈稔	期間延長〔H28.11.30まで〕
H28年10月01日	主任（附属図書館）	熊谷 千賀子	期間延長〔H28.12.31まで〕
H28年10月01日	看護師（病院・看護）	早川 美咲	復職

[離職]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
H28年10月31日	副校長（教育・特支）	加藤 和仁	辞職
H28年10月31日	助産師（病院・看護）	對馬 悠夏	辞職

主要日誌

- 10月 3日 平成28年度秋季入学式
 - 〃 第465回役員会
- 7日 北日本考古学研究センター「大五月女菴展オープンセレモニー」
- 10日 連理工大教員交流プログラム(受入) (～17日)
- 11日 弘前大学八戸サテライト「経営戦略講座」
 - 〃 企画戦略会議
 - 〃 教育研究評議会
- 13日 平成28年度第4回弘前大学起業家塾
- 14日 名誉教授との懇談会
- 15日 日本考古学協会弘前大会(～17日)
 - 〃 弘前大学白神自然環境研究所シンポジウム「自然史を学ぶ楽しみ」
- 17日 第466回役員会
- 18日 事務連絡会議
- 19日 第2回クリーンデー
- 20日 ブータンからの一行が学長を表敬訪問
- 21日 第16回弘前大学総合文化祭『It's HIRO TIME』(～23日)
- 22日 「ホームカミングデイ2016 in 弘前大学」
- 25日 テネシー大学マーチン校教員交流プログラム(～30日)
- 26日 平成28年度弘前大学起業家塾(第5回目)
 - 〃 平成28年度第1回地域社会研究科公開セミナー
 - 〃 教育委員会
- 27日 第3回ライブラリカフェ
- 29日 弘前大学八戸サテライト「食育健康セミナー」(三沢市)

学内規則

(平成28年9月16日一部改正)

(一部改正)

○弘前大学放射線安全推進会議規程

○国立大学法人弘前大学コンプライアンス基本規則

○期末手当及び勤勉手当支給に係る役職段階別加算額の取扱について

○弘前大学部局情報セキュリティ管理者に関する要項

放射線安全機構が審議機関であることを明確にするため、「放射線安全機構」から「放射線安全推進会議」に名称を変更するとともに、会議の成立及び議決要件を規定する。また、委員について放射線安全推進会議の運営上必要となる者を加えることにより円滑な運営を図るため、上記の規程等を一部改正した。

(平成28年9月16日一部改正)

(一部改正)

○弘前大学大学院医学研究科規程

大学院医学研究科における新たな寄附講座の設置及び廃止に伴い、関連の教育研究分野及び授業科目の見直しを行うため、上記の規程を一部改正した。

(平成28年9月16日一部改正)

(一部改正)

○弘前大学医学部規程

医学部保健学科において実施しているカリキュラム点検の結果に基づき、放射線技術科学専攻及び検査技術科学専攻において、授業科目の開講時期の変更及び授業内容の見直しによる単位数の変更を行うため、上記の規程を一部改正した。

(平成28年9月16日一部改正等)

(一部改正)

○弘前大学男女共同参画推進室運営規程

(制定)

○弘前大学男女共同参画推進委員会要項

男女共同参画推進室に、当該組織の事業に関する事項を審議する「弘前大学男女共同参画推進委員会」を置くことを規定するとともに、同委員会の組織、運営などに係る規定を整備し、本学の男女共同参画推進体制を明確化するため、上記の規程等を一部改正等した。

(平成28年9月16日一部改正)

(一部改正)

○弘前大学資料館規程

弘前大学資料館について、組織体制等を見直し、弘前大学を「知り」、「学び」、「伝える」ための拠点としての機能及び最新の研究成果の紹介機能を強化することで、見学施設としての役割の充実を図るため、上記の規程を一部改正した。

(平成28年9月16日制定等)

(制定)

- 国立大学法人弘前大学情報システム運用基本方針
- 国立大学法人弘前大学情報システム運用基本規程
- 弘前大学全学情報システム運用委員会要項
- 弘前大学情報セキュリティインシデント対応チームに関する要項
(一部改正)
- 国立大学法人弘前大学コンプライアンス基本規則
(廃止)
- 国立大学法人弘前大学情報化統括責任者(CIO)等の設置に関する規程
- 弘前大学情報セキュリティ委員会規程
- 弘前大学情報セキュリティポリシー

文部科学省から「国立大学法人等における情報セキュリティ強化」のため、必要な対策を組織的、計画的に実施するよう要請があったことを受け、新たに全学情報総括責任者を置き、その直接的な指揮の下、本学の保有する情報の保護と活用及び適切な情報セキュリティ対策を全学的に実施する体制を整備するため、上記の規程等を制定等した。

(平成28年9月16日一部改正)

(一部改正)

- 弘前大学医学部附属病院規程
- 国立大学法人弘前大学職員の勤務時間、休暇等に関する規程

医学部附属病院の中央診療施設等である「MEセンター」を「臨床工学部」に名称を変更するため、上記の規程を一部改正した。

(平成28年9月28日一部改正等)

(一部改正)

- 国立大学法人弘前大学管理運営規則
 - 弘前大学学則
 - 国立大学法人弘前大学事務組織規程
 - 国立大学弘前大学職員給与規程
 - 国立大学法人弘前大学会計機関等の事務及び職位等に関する規程
 - 国立大学法人弘前大学予算管理規程
 - 弘前大学教育学部規程 ほか5件
-

(廃止)

○弘前大学教員免許状更新講習実施規程

○弘前大学免許状更新講習支援室規程

平成 27 年 10 月に教育研究院教員養成部門が新設されたことに伴い、その部門の責任部局である教育学部が、教員免許状取得から教員免許状更新までの一元的な教員養成体制を構築し、教員養成に係る一層の機能強化を図るため、上記の規則等を一部改正等した。

(平成 28 年 9 月 28 日一部改正等)

(一部改正)

○国立大学法人弘前大学管理運営規則

○弘前大学国際連携本部規程

○国立大学法人弘前大学事務組織規程

○国立大学弘前大学職員給与規程

○国立大学法人弘前大会計機関等の事務及び職位等に関する規程

○国立大学法人弘前大学予算管理規程

○国立大学法人弘前大学不動産管理規程

○弘前大学国際連携本部運営会議要項 ほか 58 件

(制定)

○弘前大学グローバル化戦略会議要項

(廃止)

○弘前大学国際教育センター規程

全学的なグローバル化を推進するとともに、組織を超えた連携による教育研究のさらなる国際化及び地域の発展を担うグローバル人材育成のため、本学の国際関連組織等について再編し、体制を強化するほか、当該業務等に係る事務組織体制についても、整備するため、上記の規則等を一部改正等した。

(平成 28 年 9 月 28 日一部改正)

(一部改正)

○国立大学法人弘前大学公益通報処理規程

厚生労働省が定める特定機能病院の承認要件の見直しに伴い、医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口設置に関連し、法令違反行為に関する通報等に係る通報者保護に関する事項について明確化するため、上記の規程を一部改正した。

弘前大学学報第151号

弘前大学総務部総務広報課
036-8560 弘前市文京町1
電話 (0172) 36-2111